

Test&Measurement

YOKOGAWA



最大16チャンネル
観たい信号を一度に

高分解能オシロスコープ
DLM5000HD

高分解能オシロスコープ DLM5000HD

垂直軸分解能 16 倍

- 12bit、16bit（高分解能モード）
- 350MHz、500MHz帯域
- 最大2.5GS/s 4ch同時サンプリング
- 最大1Gポイントメモリ
- 2台同期測定で最大16chへ拡張
- 400MHz新差動プローブによる広帯域測定
- PCへの高速データ転送（USB3.0）

スコープ用ダミー DL950

絶縁オシロとレコーダの二刀流

- 最大200MS/s 高速サンプリング
- 最大8Gポイントメモリ
- 多彩な20種類以上のプラグインモジュール
- 最大160CHの複数台同期計測
- 高速データ転送（10GbE）
- モーターdq解析機能搭載
- リアルタイムにId、Iq、Vd、Vq 測定

差動プローブ 702923/702924

次世代パワー半導体に最適

- SiC、GaNのインバータ波形などフローティング信号測定に対応
- DC～400MHz帯域
- 差動入力電圧：±2000V（702924）±1000V（702923）
- すぐれた周波数特性とCMRR
- 汎用性の高いBNCコネクタとアクセサリの充実

Precision Making

横河計測株式会社 0120-137-046
www.yokogawa.com/jp-ym/

販売商社・レンタル

AI・車載・パワエレに照準
OSCILLOSCOPE

販売商社

高性能・高分解能にニーズ

日本電計はAIローエンドクラスまでオシロの引き合いが増えている。学校教育向けにコンパクトで高分解能タイプの引き合いがみられるという。今後はAIや省エネルギーなどの分野で高度な計測ニーズが高まるという。

東日本電子計測（仙台市泉区）は、ハイエンドから

明治電機工業（名古屋市中村区）は、パワーデバイス関連や自動車・車載関連の開発部門からの引き合いが増加傾向にある。パワーデバ

▲オシロ主要メーカーは展示会出展を通じて製品をPRし、販売商社やレンタル会社との協業を図る

高速デジタル規格対応充実

レンタル

オシロックス・レントックは、AIやデジタル変革（DX）の加速を受けて、「PCI Express」や「DDR」といった高速デジタル伝送規格が、オシロの需要を伸ばしている。下期はこうした最先端の高速デジタル規格の規格適合検査（コンプライアンステスト）に対応したソフトウェアを含めて広帯域モデルを提案し、多様化する技術者の

九州計測器（福岡市博多区）は、高電圧・大電流化の計測ニーズが加速し、オシロとプローブの組み合わせ提案に注力している。EVやパワエレ分野で高精度かつ広帯域で測定する要望が増えているという。

オシロスコープなど電気測定器を中心に扱う販売商社は、メーカーとユーザーの架け橋として非常に大切なポジションにあり、ユーザーのモノづくりの要望に添えている。レンタル会社においても最新鋭のオシロなどを貸し出し、研究・開発から生産、保守・メンテナンスまでユーザーの事業活動を支援している。2025年度上期（4～9月）は米国の関税政策が注視される中、オシロやプローブは好調な動きをみせた。下期（25年10月～26年3月）においても、販売商社やレンタル会社は、パワーエレクトロニクスや自動車・車載、AI（人工知能）といった分野に注力する。

横河計測

横河計測は自動車や再生可能エネルギー分野における省エネルギー型インバーターやモーターの開発を支援する電気測定器をラインアップしている。特にMSO「DLM5000シリーズ」は2台の8チャンネルオシロを連携させることで、最大16チャンネルのアナログ信号を同期測定できる。制御信号を8チャンネル以上で観測したいという開発現場の声に応えた。4チャンネルモデルと8チャンネルモデルの混在構成も可能。

メインユニットでサブユニットの設定や操作もでき、取得した波形はそれぞれ12.1インチの画面に表示され、波形データは1台に集約して保存できる。複雑化する制御信号の解析に対応し、開発効率の向上に貢献する。

ピコテクノロジー

ピコテクノロジーはコストメリットが高く、小型・高性能のPCベースのオシロスコープを販売している。ポケットサイズから、アナログ入力数8チャンネルや垂直分解能16倍、周波数帯域33MHzなどのモデルをそろえる。

リアルタイムとサンプリングのオシロ機能を併せ持つ「PicoScope9404Aシリーズ」はラインアップを強化。周波数帯域が6MHzモデルから33MHzまで全4機種となった。広帯域測定において幅広く選択できる。また、最大周波数帯域500MHzの「3400Eシリーズ」に、アナログ入力4チャンネルで100MHzモデルを追加。低価格ながら、最大毎秒5MHzのサンプリング速度、メモリ長は2MHzの高性能を実現する。

ローデ・シュワルツ・ジャパン

ローデ・シュワルツ・ジャパンは入力4チャンネルと同8チャンネルのタイプを用意し、周波数帯域は100kHzから1MHzまで全10機種をそろえたコンパクト設計のオシロスコープ「MXO3シリーズ」を発売した。

学校教育から自動車・車載用パワーエレクトロニクス解析まで幅広い市場に最適で、奥行き152mm、重量4.0kg、11.6インチのタッチスクリーンに微小信号を詳細に表示する。

同社ハイエンドオシロのASICとADコンバーターを採用。波形更新速度は毎秒450万回で、サンプリングレートは毎秒5MHzサンプル。最大メモリ長は1チャンネル当たり500MHz。垂直分解能は12bitハイレゾモードで18bitまで対応する。

リゴルジャパン

リゴルジャパンは周波数帯域が1MHzで垂直分解能が12ビット、奥行き約77mm、重さ約1.6kgの小型・軽量オシロスコープ「MHO98/900シリーズ」を投入した。

同シリーズの周波数帯域は350MHz～1MHz（1MHzモデルは「同98」）まで4機種をそろえ、アナログ入力4チャンネル、デジタル入力16チャンネル。独自開発のASICにより、低コストと高性能を両立した。

最高波形更新速度は毎秒100万波形、最高サンプリングレートは毎秒4MHzサンプルの高性能を実現し、7インチモニターに詳細に表示する。最大メモリ長は500MHzで、波形観測から解析まで幅広いユーザー要望に応える。オプションで信号発生器が内蔵できる。

き堅調であったと振り返る。

遠藤科学（静岡市駿河区）の25年度上期売上高は、米国の関税政策による影響により新規の引き合いや、半導体製造装置分野で足踏み感が見られたが、ハイエンドクラスに動きがあり前年同期と比べて好調に推移した。下期も継続して電気自動車（EV）開発、半導体製造装置、重電、パワー半導体分野を重点ターゲットに、ハイエンドミドルクラスを拡販。また、新エネルギーや防衛関連を期待分野に、ローエンドモデルを含めて販売に注力する。

イスの高容量化・高速化に対応するニーズや、EV・急速充電技術の進展に伴い、高性能オシロやプローブの需要が増加している。下期は継続してパワーデバイス分野、電動化、エネルギー分野を中心に展開する。

マックスシステムズ（名古屋市中区）は10月に入り、EVや再生可能エネルギー市場からの引き合いが活発になっている。高速信号解析の要求が増え、広帯域オシロの採用が進んでいる。車載用インバーター向け炭化ケイ素（SiC）や、充電インフラに搭載するGa

▲オシロ主要メーカーは展示会出展を通じて製品をPRし、販売商社やレンタル会社との協業を図る

九州計測器（福岡市博多区）は、高電圧・大電流化の計測ニーズが加速し、オシロとプローブの組み合わせ提案に注力している。EVやパワエレ分野で高精度かつ広帯域で測定する要望が増えているという。

MHO900シリーズ

高分解能デジタルオシロスコープ

4アナログ・チャンネル数 16デジタル・チャンネル数
350M～800MHz (MHO98モデル: 1GHz) 周波数帯域

電源試験／組込みシステムのデバッグ／車載デバイスの評価

¥148,200(税抜)～

RP3500A
パッシブプローブ
¥37,800(税抜)

DC～500MHz

350M～1GHz
周波数帯域

4
アナログ・チャンネル数

4GSa/s
リアルタイム・サンプル・レート

12bit
垂直分解能

77mm
薄さ

500Mpts
メモリ長（最大）

RIGOL

リゴルジャパン株式会社
TEL:0120-075-088 FAX:03-6262-8933
E-mail: info.jp@rigol.com